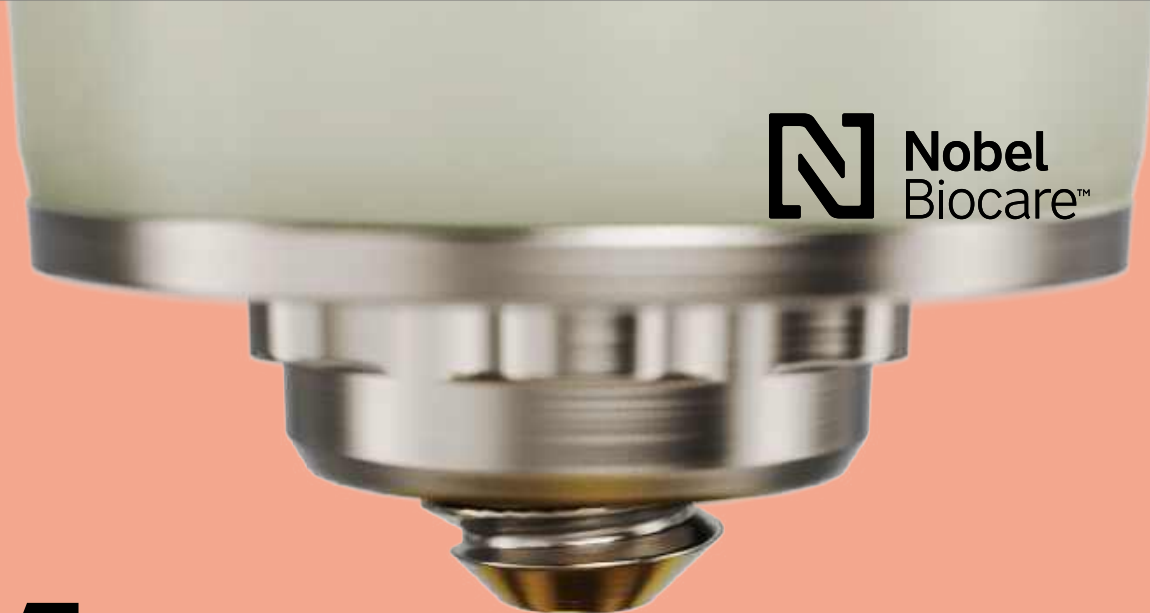


Restorative procedures



On1™ CONCEPT

On1™ コンセプト マニュアル



目次

インプラント埋入後手順 3

暫間補綴修復 4

最終補綴修復 -On1 ユニバーサル・シリンダー 6

最終補綴修復 -On1 エステティック・シリンダー 10



注：本文中では、読みやすくするために商標/登録商標の™または®を使用していません。
しかし、これは弊社が、商標あるいは登録商標に関する自社の権利を放棄したことを
意味するものではなく、本書のいかなる記載内容もそのように解釈されてはなりません。

インプラント埋入後手順

3



外科手順

- 適切なOn1 ベース・アバットメント Xealを選択し、付属のハンドルを用いて手締めで、ノーベルバイオケア社製のコニカル・コネクション・インプラントに装着します。
- 最終的なOn1 ベース・アバットメント Xealおよびコンポーネントの正しい装着は、X線撮影により確認することをお勧めします。
- 付属のハンドルを取り外し、On1 アバットメントスクリューをOn1 ベース用マシン・ドライバーと補綴用トルクレンチを用いて35 Ncmで締め付けます。
注意: On1 アバットメントスクリューの締め付けトルクは35 Ncmを超えないようにしてください。過剰な締め付けはスクリューが破損する可能性があります。
- 適切なOn1 ヒーリングキャップを選択し、対合とのクリアランスを確認します。
- On1 ヒーリングキャップをOn1 ベース・アバットメント Xealに装着し、手用ドライバー・ユニグリップを用いて、手で締めます。

注意:

- On1 ベース・アバットメント Xealからコンポーネントを取り外した際は、On1 アバットメントスクリューが緩んでいないことを都度確認し、必要に応じて35 Ncmに締め直します。
- On1 アバットメントスクリューは、On1 専用のドライバーのみ使用できます。
On1 専用ドライバーには目印として黒のレーザーマークが付与されています。

On1™ コンセプト関連製品

NP

RP

WP

外科用コンポーネント

On1 ベース・アバットメント Xeal™
(ハンドル付)*

	300191	300192	300193	300194	300195	300196
高さ	1.75 mm	2.5 mm	1.75 mm	2.5 mm	1.75 mm	2.5 mm
	38744	38745	38746	38747	38748	38749
高さ	1.75 mm	2.5 mm	1.75 mm	2.5 mm	1.75 mm	2.5 mm
	38695	38696	38697	38698	38699	38700
高さ	1.5 mm	2.5 mm	1.5 mm	2.5 mm	1.5 mm	2.5 mm

* On1 ベース・アバットメントには、On1 アバットメントスクリューが同梱されます。

On1 ベース用ドライバー・マシン用 21 mm	38752
On1 ベース用ドライバー・手用 25 mm	38753



暫間補綴修復

暫間補綴修復の計画

治療計画では、最終的な補綴修復を含む治療全体を考慮に入れる必要があります。最終的な補綴修復に応じて、いくつかの方法と製品があります。

テンポラリー・コンポーネント

テンポラリー・クラウンまたはブリッジは、テンポラリー・アバットメントまたはファイナル・アバットメントに装着し暫間補綴装置として使用できます。

暫間補綴修復

暫間補綴装置には、チェアサイドで製作する標準的なアクリル製クラウンから歯科技工所で製作するプロビジョナルクラウン/ブリッジまで多岐にわたります。いずれの場合においても、軟組織の刺激を避けるため、補綴装置のマージンは滑らかにすることが重要です。また、術部の感染を避けるために、修復時に余剰セメントや印象材をすべて除去してください。

暫間補綴装置の装着

セメント固定：

暫間補綴装置は仮着用セメントを使用して固定します。余剰セメントは注意深く取り除きます。

スクリュー固定：

専用の補綴用スクリューを用いて装着します。ガッタパーチャ、シリコン、仮封材など適切な材料を用いてスクリュー・アクセスホールをブロックアウトしてください。スクリューヘッド部にレジンが入り込むのを防ぎ、また必要に応じて、いつでも暫間補綴装置を取り外すことができるようにします。

上記いずれの方法においても、咬合の調整を行います。

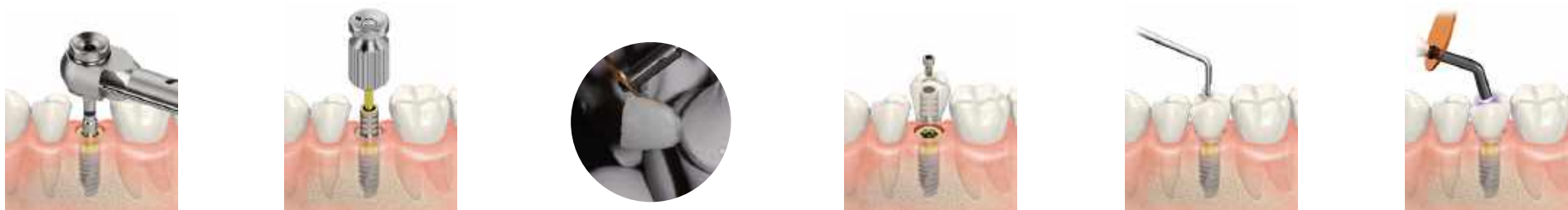
On1 テンポラリー・シリンダーを用いた暫間補綴修復

チタン製のテンポラリー・シリンダーはスクリュー固定修復用として使用します。プロビジョナル・マテリアルとして使用するアクリルレジンの機械的維持を獲得するためにシリンダーに溝が付与されています。プロビジョナルはチェアサイドまたは歯科技工所のどちらでも製作可能です。チェアサイドで製作する場合は、アクリル製ステントを用いることができます。



暫間補綴修復

チェアサイド手順



1 → 2 → 3 → 4 → 5 → 6

ドライバー On1 ベース用ドライバー
トルク 35 Ncm

ドライバー 手用ドライバー ユニグリップ
トルク 手締め

ドライバー マシン用ドライバー ユニグリップ
トルク 35 Ncm

暫間補綴修復 - チェアサイド手順

- On1 ヒーリング・キャップを取り外します。On1 アバットメント スクリューが緩んでいないことを確認し、必要に応じて35 Ncmで締め直します。
- On1 ベース・アバットメント XealにOn1 テンポラリー・シリンドーを装着し、手用ドライバー・ユニグリップを用いて、手で締め付けます。咬合を確認し、必要に応じてシリンドーの高さを調整します。但し、調整は患者様の口腔内では行わないでください。
- 通法に従って、手順2のテンポラリーシリンドーを用いてプロビジョナル・クラウンを製作し、スクリュー・アクセスホールを設けます。

備考：シリンドーのインターフェース（接合部）はOn1 ベース・レプリカで保護します。

- テンポラリー・クラウンをOn1 ベース・アバットメント Xealに接続し、マシンドライバー・ユニグリップと補綴用トルクレンチを用いて35 Ncmで締め付けます。
- ガッタパーチャ、シリコン、仮封材など適切な材料を用いてスクリュー・アクセスホールをブロックアウトしてください。スクリューヘッド部にレジンが入り込むのを防ぎ、また必要に応じて、いつでも暫間補綴装置を取り外すことができるようにします。
- スクリュー・アクセスホールをレジンで封鎖し、通法に従って接着・硬化させます。

注意：テンポラリー・シリンドーの口腔内でのご使用は180日以内に限定されています。

On1™ コンセプト関連製品

NP RP WP

On1 テンポラリー・シリンドー（ハンドル付）

エンゲージング



On1 補綴用スクリューが同梱されます。



38701 38703 38705

ノンエンゲージング



On1 補綴用スクリューが同梱されます。



38702 38704 38706

On1 ベース・レプリカ



38731 38732 38733

On1 補綴用スクリュー



38750 38750 38750

On1 ベース用ドライバー



マシン用 21 mm 38752



手用 25 mm 38753

ドライバー・ユニグリップ

手用

20 mm 28 mm 36 mm
29148 29149 29150

マシン用

20 mm 25 mm 30 mm 35 mm
29151 29152 29153 29154

最終補綴修復 - On1 ユニバーサル・シリンダー

6

デジタルワークフロー（口腔内スキャン）



1 → 2 → 3

臨床手順

- On1 ベース・アバットメント XeaIをインプラントに装着後、On1 IOS キャップを付属のハンドルを用いて装着します。装着後、付属のハンドルを取り外し、マシン用ドライバー・ユニグリップと補綴用トルクレンチを用いてOn1 補綴用スクリューを15 Ncmで締め付けます。
備考：On1 IOS キャップの高さは症例に応じてお選びいただけます。
- On1 IOS キャップを装着後、隣在歯を含めてデジタル印象を採得します。デジタル印象は、ご使用になる口腔内スキャナーのガイドラインに従ってください。
- デジタル印象を歯科技工所へ送ります。その際、On1 ベース・アバットメント XeaI、On1 IOS キャップを使用した症例であることと、使用したOn1 IOS キャップのサイズ、および希望する補綴装置のマテリアルを伝えてください。
(DTX Studio Labソフトウェア内で、サイズ的選擇があります。)

On1™ コンセプト関連製品

NP

RP

WP

On1 IOS キャップ(ハンドル付き)



4 mm			38739
4.5 mm	38735	38737	
5 mm			38738
6 mm	38734	38736	
On1 補綴用スクリューが同梱されます。			

On1 ユニバーサル・シリンダー



エンゲージング			
0.3 mm	38707	38709	38711
1.25 mm	38708	38710	38712
ノンエンゲージング			
0.3 mm	300361	300363	300365
1.25 mm	300362	300364	300366

・ On1 補綴用スクリューおよびバーンアウトコーピングが同梱されます。
・ ノンエンゲージングはショートスパン(2-3ユニット)への適用が推奨されます。

NP

RP

WP

On1 IOS レプリカ



38740	38741	38742
-------	-------	-------

IOS モデルインサージョンツール



38201	38201	38201
-------	-------	-------

On1 補綴用スクリュー(技工用)



38751	38751	38751
-------	-------	-------

最終補綴修復 - On1 ユニバーサル・シリンダー

7

デジタルワークフロー（口腔内スキャン）



→ 4 → 7 → 9 → 10 → 11 → 12 → 13 →

技工手順

4. DTX Studio™ Labソフトウェアにデジタル印象で採得したデータを取り込みます。ソフトウェアのライブラリーはノーベルバイオケアの3Dモデル製品を含む最新の状態に更新されていることを確認してください。
5. データの取り込みが完了したら、CADモジュールを開きOn1 ベース・アバットメント Xeal、On1 IOS キャップを選択し、歯科医院指定の補綴装置の材料を選びます。これらの情報を元に正しい3Dモデルが選択されます。
6. スキャンデータを3Dモデルに合わせて調整します。
7. ソフトウェアのガイドラインに従って、補綴装置を設計します。最小寸法は補綴に用いる材料に準じてください。
8. デザインしたデータをミリングマシンへ送信します。ミリングマシンはメーカーの指示に基づき、正常に稼働することを確認してください。
9. 材料のブロックまたはディスクを準備し、最終補綴装置を切削します。
10. オプションとして、作業用3Dモデルをプリントすることも可能です。
11. IOS モデル インサージョンツールを用いて、On1 IOS レプリカを模型に装着します。
12. On1 IOS レプリカにOn1 ユニバーサル・シリンダーを手締めで装着します。ここではOn1 補綴用スクリュー技工用を使用します。
13. 最終補綴装置のミリングが完了したら、通常の技工手順と材料メーカーの指示に従って、補綴装置を完成させます。

最終補綴修復 - On1 ユニバーサル・シリンダー

デジタルワークフロー（口腔内スキャン）



→ 14 → 15 → 17 → 18 → 18 → 20 → 21 →

ユニバーサル・シリンダーの準備

14. テフロンテープでスクリュー・アクセスホールを封鎖します。
15. ユニバーサル・シリンダーの補綴装置を装着する表面に、最大1気圧で100 μ mの酸化アルミニウムをサンドブラストします。
注意：ユニバーサル・シリンダー接合部にサンドブラスト処理はしないでください。On1 レプリカを使用し、接合部を保護してください。
16. テフロンテープを慎重に取り除きます。スチームクリーナーまたは超音波洗浄機を使用して、ユニバーサル・シリンダーの補綴装置接着面をクリーニングし、補綴装置が適切に接着できるように処理します。
17. 強固で耐久性のある接着ができるように、プライマーを塗布します。プライマーはメーカーの指示に従って使用してください。

クラウンの準備

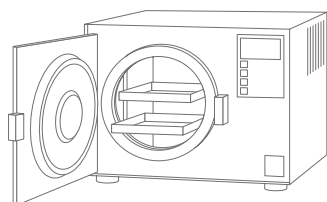
18. スチームクリーナーまたは超音波洗浄機を使用して、クラウンの内面をクリーニングします。
 - a) ハイブリッドセラミック：クラウンの内面にエッチング処理を行い、プライマーを塗布します。塗布剤はメーカーの指示に従って使用します。
 - b) ジルコニア：クラウンの内面を最大1気圧で100 μ mの酸化アルミニウムをサンドブラストします。

接着

19. ユニバーサル・シリンダーのスクリューアクセスホールをテフロンテープなどで封鎖します。
20. クラウンおよびユニバーサル・シリンダーの接着面に接着用セメントを薄く塗布します。
21. クラウンとユニバーサル・シリンダーを軽く組み合わせ、正しい方向を確認し、完全に装着させます。接着用セメントはメーカーの指示に従って使用します。
22. セメントが硬化/重合したら、余剰セメントを取り除きます。
注意：未重合層を抑制するため、グリセリンゲル（エアバリア材）を使用してください。
23. マイクロブラシを用いて、スクリュー・アクセスホールから余剰のマテリアルを除去します。
24. ラバーポリッシャーを用いて、セメント固定部位を慎重に研磨し、補綴装置を完成させます。

最終補綴修復 - On1 ユニバーサル・シリンダー

デジタルワークフロー（口腔内スキャン）



→ 25 → 26 → 27 → 28 → 29

ドライバー On1 ベース用ドライバー
トルク 35 Ncm

ドライバー マシンドライバー ユニグリップ
トルク 35 Ncm

臨床手順

25. 補綴装置を歯科技工所より受け取った後、洗浄・滅菌します。
26. On1 テンポラリーシリンダーまたはOn1 ヒーリングキャップを取り外し、必要に応じて、On1 ベース・アパットメントをOn1 ベース用ドライバーと補綴用トルクレンチを用いて、35 Ncmで再度締め付けます。
27. ユニバーサル・シリンダーを装着し、マシン用ドライバー・ユニグリップと補綴用トルクレンチを用いて、35 Ncmで締め付けます。
注意：35 Ncmを超えるトルク値で締め付けしないでください。過剰なトルクはスクリューの破損を引き起こす可能性があります。

28. ガッタパーチャ、シリコン、仮封材など適切な材料を用いてスクリューヘッド部をブロックアウトし、レジンが入り込むのを防ぎます。また必要に応じて、いつでも補綴装置を取り外すことができるようにします。
29. スクリュー・アクセスホールをレジンで封鎖し、メーカーの指示に従って、硬化させます。

On1™ コンセプト関連製品

On1 補綴用スクリュー

	NP	RP	WP
	38750	38750	38750

On1 ベース用ドライバー

	マシン用 21 mm	38752
	手用 25 mm	38753

ドライバー・ユニグリップ

手用	20 mm	28 mm	36 mm	
	29148	29149	29150	
マシン用	20 mm	25 mm	30 mm	35 mm
	29151	29152	29153	29154

最終補綴修復 - On1 エステティック・シリンダー

10



1 → 2 → 3 → 4 → 6 → 7

臨床手順

1. 暫間補綴装置を取り外し、必要に応じて、On1 ベース・アバットメントをOn1 ベース用ドライバーと補綴用トルクレンチを用いて、35 Ncmで再度締め付けます。
2. On1 ベース・アバットメント XealにOn1 印象用コーピング・クローズトレー用またはオープントレー用を装着し、印象採得を行います。印象は歯科技工所へ送ります。

技工手順

3. On1 ベース・レプリカを用いて、着脱可能な歯肉付き模型を製作します。
4. 手用ドライバー・ユニグリップを用いて、On1 ベース・レプリカにOn1 エステティック・シリンダーを手締めで装着します。ここではOn1 補綴用スクリュー技工用を使用します。
5. 必要に応じて、エステティック・シリンダーを形成します。チタン製のOn1 エステティック・シリンダーの形成はカーボランダムディスクやカーバイドバーを使用します。
On1 ベースの接合部から高さ 3 mmまでは、シリンダーの厚さを最低 0.9 mm 確保してください。また、シリンダーの接合部は形成しないでください。
6. 通法に従って、クラウンを製作します。
7. 築盛り、補綴装置を仕上げます。

On1™ コンセプト関連製品

NP

RP

WP

On1 印象用コーピング



クローズトレー用	38725	38726	38727
オープントレー用	38728	38729	38730
オープントレー用(ノンエンゲージング)	300367	300368	300369

On1 ベース・レプリカ



	38731	38732	38733
--	-------	-------	-------

On1 エステティック・シリンダー(チタン製)



	38713	38714	38715
--	-------	-------	-------

On1 補綴用スクリュー(技工用)



	38751	38751	38751
--	-------	-------	-------

On1 ベース用ドライバー



マシン用	21 mm		38752
------	-------	--	-------



手用	25 mm		38753
----	-------	--	-------

ドライバー・ユニグリップ

手用	20 mm	28 mm	36 mm	
	29148	29149	29150	
マシン用	20 mm	25 mm	30 mm	35 mm
	29151	29152	29153	29154

最終補綴修復 - On1 エステティック・シリンダー

11



臨床手順

8. 補綴装置を歯科技工所より受け取った後、洗浄・滅菌します。
9. On1 ベース・アバットメント Xealより、暫間補綴装置を取り外し、On1 アバットメントスクリューが35 Ncmで締結されていることを確認します。
10. エステティック・シリンダーを装着し、マシン用ドライバー・ユニグリップと補綴用トルクレンチを用いて、35 Ncmで締め付けます。
11. ガッタパーチャ、シリコン、仮封材など適切な材料を用いてスクリューヘッド部をブロックアウトし、レジンが入り込むのを防ぎます。また必要に応じて、いつでもアバットメントを取り外すことができますようにします。
12. ファイナル・クラウンを通法に従ってセメント固定し、対合歯および隣接歯とのコンタクトを確認します。セメント固定は、使用するセメントメーカーの指示に基づいて、使用してください。補綴装置の咬合は軽くするようにしてください。余剰セメントを除去します。

On1™ コンセプト関連製品

On1 補綴用スクリュー

	NP	RP	WP
	38750	38750	38750

On1 ベース用ドライバー

	マシン用 21 mm	38752
	手用 25 mm	38753

ドライバー・ユニグリップ

	20 mm	28 mm	36 mm
手用	29148	29149	29150
マシン用	29151	29152	29153
			29154

オンラインでご注文

ノーベルバイオケアのオンラインストアからインプラントおよび関連製品を幅広いラインアップより24時間いつでもご注文いただけます。
(発送手続きは営業時間内)

store.nobelbiocare.com/jp

お電話またはファックスにてご注文

カスタマーサービスにお電話をいただくか、またはファックスにてご注文いただけます。

TEL 0120-147-118

FAX 0120-726-118

製品保証プログラム

ノーベルバイオケアでは、製品の保証プログラムを適用しております。
詳細に付きましては、弊社までお問い合わせください。

一般的名称

歯科用インプラントアバットメント	医療機器承認番号: 22900BZX00346000
歯科インプラント用上部構造材	医療機器認証番号: 229ADBZX00095000
歯科インプラント補綴用器具	医療機器届出番号: 13B1X10405400055
歯科インプラント技工用器材	医療機器届出番号: 13B1X10405400039, 13B1X10405400052
歯科用インプラント手術器具	医療機器届出番号: 13B1X10405400001
手術用ドリルアタッチメント	医療機器届出番号: 13B1X10405400021



nobelbiocare.com

MK345E JP 2506 © Nobel Biocare services AG, 2025. All rights reserved.

ノーベルバイオケア、ノーベルバイオケアのロゴ、および本書で使用されているその他のすべての商標は、別途記載されていない限り、また文脈から明白である場合を除き、ノーベルバイオケアの商標です。このパンフレット内の製品画像は、必ずしも縮尺通りではありません。

製造販売元: エンビスタジャパン株式会社

販売元: ノーベル・バイオケア・ジャパン株式会社

〒140-0001 東京都品川区北品川4-7-35 御殿山トラストタワー13F TEL 03-6408-4182

GMT 97563

